

花の車輪

学んだ！味わった！湖西への平和ツアー

安曇川高校で最終メンバーがバスに乗車して、参加者 21 人、まずは陸上自衛隊あいば野演習場へ向かいました。今津東小学校の斉藤先生に、忠魂碑のある共同墓地へ案内していただいて、地元ならではの詳しいお話を伺いました。そこに今津地区の戦没者の遺影が掲示されていて、小学生が平和学習の中で取り組んでいるお墓調べの実践についても説明していただきました。



次に新旭町針江地区に移動し、ラシーヌホームハリエで発酵食品を使ったおいしいお料理と安曇川高校の生徒が考案した梅花藻水饅頭をいただきました。その後、地元の景観を守っておられる生水の郷委員会の方のご案内で、地区のあちこちにあるかばた(川端)を見学させていただきました。とてもきれいな川の水に心が洗われるようでした。

<参加者の声>

今日はありがとうございました。午前中のあいば野と戦没者遺影、それを基にした**斉藤先生の実践**、とてもリアルに子どもたちに響くなと感じました。日米合同演習の時に口をつぐむ地域の人々、それは原発のある地域とも重なりますね。発酵食品のランチ、とてもおいしかった。ていねいに料理をすることを思い出させてもらいました。カバタ巡り、のんびり歩いてお話も楽しかった。リフレッシュできました。



針江地区の酒うまい！発酵食品ランチうまい！ 針江散策よかった！



昼食たいへんおいしかったです。梅花藻水まんじゅう最高！

内容の濃い平和ツアーでした。斉藤先生の話は心にしみ、かばたの水の美しさに心洗われ、発酵食品のお昼もとてもおいしかったです。おいしい水ならではの豆腐とお酒をおみやげに…。ありが

とうございました。

組合でなければ行かないだろうなというところに行けたことが難かったです。自分のふるさとを大切にしている人たちの出会いは貴重でした。針江の郷、子どもの頃を思い出す景観でした。懐かしかった。

斉藤先生のお話を聞いて、沖縄と同じようなことが起きているが、表に出ていないだけということがわかりました。針江生水の郷では、かばたを大事に、景観を守り暮らしている住民の方々の努力を感じました。秋の1日、日常を忘れてほっこりできました。お昼もおいしかったです。身近な地域ですが、戦争のことや水の大切さを改めて考える機会となりました。ゆったりした良いツアーでした。



滋賀にこんな場所があるとは知りませんでした。かばたのある生活は昔の暮らしの感覚です。地元のことを学ぶ・知って大事だと思いました。午前中のあいば野見学は、本当に身近に演習場があることがわかったり、斉藤先生の平和教育の取り組みやいろんなことが聞けて良かったです。午後は、今話題のかばた見学。ゆっくりといろんなお話も聞けて楽しい時間となりました。

戦争のこと、針江の郷のこと、「滋賀のこんな身近にあるなんて...」と感動ばかりでした。考えるべきことがいろいろあるな〜と。今も頭がいっぱいです。よき学びです。随分前にテレビでカバタを見ました。家の内に湧き水を引いて、そのきれいな水で野菜を洗ったり、お鍋を洗って底についたカレーを鯉が食べて育つ。大きくなった鯉を人がいただくというような番組でした。そんなきれいな水、まだあるのかな？ありました！！とってもおいしい水をいただいて、こんな町に住みたいと思いました。あいば野演習場のために市民の憩いの場が奪われていること、沖縄の基地と同じような事件が起きていること。武器も増やされている今、平和を守るためと犠牲になっている人がいるのはおかしいと改めて感じました。



こんなすてきな平和ツアー、行かなきゃ損！

次回は是非、いっしょに行きましょう。

「新春の集い」は、1月19日(土) 桐原小学校にて。別紙案内、届けます。